

平成30年度熊本県高等学校弓道競技大会
兼第26回九州高等学校弓道新人選手権大会県予選実施要項

- 1 大会名 平成30年度熊本県高等学校弓道競技大会（兼第26回九州高等学校弓道新人選手権大会県予選）
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県弓道連盟
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟弓道専門部
- 5 日時 (1) 監督会議 平成30年10月13日（土）8時50分～（受付開始8時30分）
(2) 開会式 平成30年10月13日（土）9時20分
(3) 競技 平成30年10月13日（土）・14日（日）
13日（土）9時50分 競技開始 団体一次予選（女子より）
14日（日）8時50分 競技開始 個人決勝戦
団体二次予選・決勝トーナメント戦
(4) 閉会式 平成30年10月14日（日）17時30分～
- 6 会場 熊本市植木弓道（熊本市北区植木町岩野 238-1 TEL096 - 272 - 3991）
- 7 競技規則 （公財）全国高等学校体育連盟弓道競技規則による。
- 8 競技内容 競技の種目、種別、種類および規格は次のとおりとする。
(1) 種目 近的競技
(2) 種別 男子の部・女子の部
(3) 種類 団体競技・個人競技
(4) 規格 的は36cm 霞的とする。ただし、個人競技決勝の射詰5射目以降は24cm 星的を使用する。
(5) その他 競技会場は2射場10人立ちとする。
- 9 競技方法 (1) 団体競技および個人競技は、次のとおりとする。

ア 団体競技

予選は1チーム単位により、一次予選、二次予選、決勝戦を次のように行う。

<一次予選>四矢1回（各自4射、立射）を行い、男子7中以上、女子6中以上のチームを通過とする。

<二次予選>四矢1回（各自4射、立射）を行い、的中数上位より16チームを通過とする。

<決勝戦> 抽選により組合せを決定し、トーナメント形式により四矢1回（各自4射、立射）を行う。ただし、二次予選の上位4チームはシードする。

イ 個人競技

<予選>団体戦1次予選または個人として4射した者で、男女とも3中以上の的中者を準決勝進出者とする。なお団体一次予選で補欠となった選手についての個人競技予選は実施しない。

<準決勝>準決勝は、各自4射を行い、男女とも3中以上の的中者を決勝進出者とする。ただし、3中以上が6名に満たない場合は2中の者で遠近法によって順位を決定する。

<決勝戦>決勝は、射詰競射により上位から順位を決定する。射詰競射の5射目以降は、24cm 星的を使用する。的中を逸した同位者は、優勝決定以外は遠近競射(36cm 霞的)で順位を決定する。

(2) 両種類とも同中の場合は、各自1本ずつの競射を行い勝敗を決定する。(競射の1本目は、予備矢を使用する。)

(3) 矢返しは、四矢終わるごとに行い、1本ごとの矢返しは行わない。

- (4) 競技時間の制限
- ア 競技時間は、本座における進行係の合図によって始まり、最後の射手の最後の弦音で終わる。
 - イ 団体競技の行射制限時間は1チーム6分とし、5分30秒で予鈴を鳴らす。
 - ウ 弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長はしない。
 - エ 個人競技および1射ずつの競射については、進行係又は、審判員の指示に従うこと。

- (5) 行射
- ア すべて立射で行う。

(6) 交代・変更

[選手]

- ア 団体選手の変更・交代は、申込書に記載した登録選手以外は認めない。
- イ 団体競技の先発メンバーは登録順に5名とし、監督会議終了直後までの変更1回と競技開始後2回の交代を認める。したがって変更・交代した選手の再出場はできる。
- ウ 変更は監督会議終了直後まで、交代は第3控に入る前までに、それぞれ所定の用紙に記入し、監督が届け出るものとする。
- エ 変更・交代は1回につき2名以内とする。
- オ 立順を変更することは認めない。ただし、交代によって結果的に立順が変わることはやむを得ないものとする。
- カ 所定の交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- キ 個人選手の交代は認めない。

[監督]

- ア 監督の変更は、選手が第4控に入る前までに文書により、原則として新監督が届け出ること。
- イ 生徒の監督代行は、当該校の監督が本大会の役員を兼務する場合に限り認める。

10 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、熊本県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
- (3) 年齢は、**平成12年4月2日以降**に生まれた者で、第1学年及び第2学年、またはそれに相当する学年に在籍する生徒とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程と定時制課程、通信制課程の生徒の混成を認めない。
- (5) 複数校合同チームによる大会参加
 - ア 統廃合の対象となる学校について認める。
 - イ 少子化等に伴う部員不足による複数校合同チームの大会参加については、別途に定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。
- (6) 転校後6カ月未満の生徒の参加は認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等のやむを得ない事由による場合は、弓道専門部で調査し、県高等学校体育連盟会長に諮ることとする。
- (7) 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (8) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に順ずる。
- (9) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たし、かつ、県高体連が承認した生徒を、「大会参加資格の別途に定める規程」に従い、大会

参加を認める。

イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒は、同一競技3回限りとする。

ウ 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、3学年までの年齢19歳未満の者に限る。(同一学年の参加は同一競技、1回限り)

- 11 参加人員 (1) 1校より男女各2チーム以内、1チームの編成は監督1人、選手7人までとし、選手4人未満は個人としての出場とする。
(2) チームの先発メンバーは申し込み記載順に5人とする。
- 12 引率・監督 (1) 引率責任者は当該校の教員とする。
(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はスポーツ安全保険(傷害、賠償責任保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 13 個人情報の取扱い

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取り扱う。なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取扱い
ア 大会プログラムへ掲載する。
イ 競技場内でのアナウンス等による照会・コールすることがある。
ウ 競技場内外の掲示板等に掲示されることがある。
- (2) 競技結果(記録)等の取扱い
ア 熊本県高等学校体育連盟ホームページで公開することがある。
イ 大会報告書、熊本県高等学校体育連盟年報、熊本県高等学校体育連盟周年記念誌へ掲載することがある。
ウ 報道機関等の取材により、新聞等のメディアで公開されることがある。

- 14 参加申込 (1) 申込書類
申込書 1部
(2) 申込方法
所定用紙に記入の上、下記申込先あて郵送すること。(FAXでは受け付けない。)

(3) 申込先

〒861-0532 山鹿市鹿校通三丁目5番1号

熊本県立鹿本高等学校 富田 満秋 (TEL) 0968-44-5101

※なおプログラム作成省力化のため、文書による申込みとあわせて、別紙要領に従いEメールでも選手名簿をお送り願います。

(メールアドレス; tomita-m-ki@mail.bears.ed.jp)

(4) 申込み締切日

平成30年9月27日(木) 必着

- 15 参加料 (1) 加盟校 500円 × エントリー人数
(2) 非加盟校(高等専門学校等) 1,000円 × エントリー人数
(3) 納入方法
ア **参加申込と同時に**最寄のゆうちょ銀行込用紙(青色の用紙、ゆうちょ銀行に常備)を用いて、下記口座に払い込むこと。(払込代金は各学校でご負担願います。)
イ 払込先

口座番号 01710-0-61294
加入者名 熊本県高体連弓道専門部

ウ 払込用紙の通信欄に男女別参加者数と総参加者数をそれぞれ明記してください。

16 表彰 団体競技は男女3位まで、個人は男女6位までそれぞれ表彰する。

17 九州新人大会の出場権

男女とも、本大会の団体競技上位3校と個人競技上位3名を、第26回九州高等学校弓道新人選手権大会（11月3日・4日宮崎県都城市）の県代表とする。

18 立順 弓道専門委員会において決定しだい各学校に連絡する。

19 連絡事項

- (1) 競技の服装は弓道衣、袴、白足袋とする。
- (2) 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地とする。
- (3) 鉢巻を使用する場合、無地で長さは肩までとする。なお、校名・校章・氏名に限り入れてよい。
- (4) 選手は、所定のゼッケン（別記）を用意し、行射の際、全員が右腰前に着けること。
- (5) 弓に照準の目印等をつけてはいけない。
- (6) 第3控において弓具、ゼッケン、服装等の点検を行う。
- (7) 出場選手は、四矢の他に筈打ち、筈割れ、競射の場合に使用する予備矢を2本持参すること。
- (8) 監督不在のチームは出場を認めない。
- (9) 監督は選手とともに入場し、所定の席につくものとする。
- (10) 第3控から第2控に移動するまでに集合しない場合は、その立に限り、その選手は棄権とする。そのために団体の人員に欠員が生じても欠員のまま団体とする。
- (11) 選手・応援者が発声応援するときは、『よし』に拍手3回までとする。また皆中と大前から落ちまでの連続的中に対する拍手も認める。ただし、道場内では、これらを禁ずる。
- (12) 競技審判規定は（公財）全国高等学校体育連盟弓道競技規則によるほか、（公財）全日本弓道連盟競技規則も準用する。
- (13) 競技中の選手のフラッシュ撮影は禁止とする。

[ゼッケンについて]

12cm	熊 本 県
	学 校 名
	1
	18cm

- (1) 白地の布に、県名・学校名は黒色。男子選手番号は黒色、女子選手番号は赤色で記入する。
- (2) 県名は必ずしも入れる必要はないが、新規につくる場合は、できるだけ入れておくこと。
(九州大会、全国大会では必要)
- (3) 選手番号はチーム内立順番号（1～7）とする。なお、この番号は選手の登録番号となるので、選手が交代してもゼッケンのつけかえはしないこと。
- (4) 定められたゼッケンを着用せずに行射した選手の成績は参考記録扱いとなるので注意すること。